

スギウラ株式会社 027-361-5808		
キッチンペーパー 台所で活躍する紙といえばキッチンペーパーです。なくても困りはしませんが、一度使ってしまうとその便利さから、キッチンペーパーがなければ不便さを感じてしまいます。箱入りのものとロール状のものがありますが、どちらをお使いですか？		スギウラ株式会社 〒370-0006 高崎市問屋町 2-2-8 電話番号 代 表 027-361-5808 営業1課 027-361-5734 営業2課 027-361-5780 Fax 027-361-1272 当社 Web サイト www.kamisugiura.co.jp
概要 キッチンペーパーは、いわゆる布巾の代替品ですが、使い捨てを前提とするため常に清潔な新しいものを利用することが可能となっています。水には溶けにくく、また濡れても破れにくい製品もありますが、これは製品によってまちまちで、大抵はガスコンロやオープン・流し台などに付いた油汚れを拭き取ったり、使用後の調理器具を拭いたりもします。また、油引きの代用品としても利用されています。 特徴 ＊物を拭く用途のものは、表面にエンボス加工が施されていて、油や水分の吸収、汚れなどの拭き取りが容易になるよう工夫がされています。 ＊ティッシュペーパーのように一枚ずつ簡単に取り出せるように紙箱にはいったもの、トイレットペーパーのようにロール状に巻かれ、ホルダーにセットして使うものの2種類に大別できます。 ＊ロール状のものは、幅はトイレットペーパーの2倍（230mm）程度が一般的です。ミシン目が入っており、正方形に切り取り易いよう工夫されています。		布巾→キッチンペーパーへ かつての日本の台所には、布巾が欠かせない存在でした。流し台の前の窓枠には布巾掛けが取り付けられ、使い終わった布巾を干す様子は、台所の象徴でした。 流し台がシステムキッチンに変化したのに伴って、布巾がキッチンから姿を消し始めました。使い終わった布巾は洗濯機で洗って、天日のもとで干すことによって殺菌消毒をすることを意識するようになりました。綺麗になった布巾は引き出しに収納し、必要に応じて取り出して使うようになりました。キッチン空間に布巾が露出されなくなったことは、最近のインテリア雑誌のキッチン空間を見るとよくわかります。 もうひとつの変化が、従来の布製の布巾から、キッチンペーパーにその主役が交代しつつあることです。最近のキッチンでは、キッチンペーパーやキッチンタオルを使うことが多くなってきたように見受けられます。皆さんのご家庭では如何ですか？ 食品や食器の水気をふき取ったりはもちろん、天ぷらの油切り、油漉し、料理の落しぶたやまな板の汚れ防止に敷いたり、キッチンペーパーはおおいに役立ってくれる主婦の強い味方と呼べるでしょう。 お問合せ メールアドレス sg-arai-yoshio @kamisugiura.co.jp

ニュースレターQ	
スギウラ株式会社 027-361-5808	
2010年8月1日 発行 第 38号	
特 集 ・ たかさき薪能 ・ 夏あれやこれや ・ キッチンペーパー	たかさき薪能 夏本番です。毎日暑い中、体調管理には気を付けたいものです。つい冷房の効いた部屋にこもりがちですが、設定温度を高めにする、クールビズと併用するなど、冷房と上手く付き合っていきたいですね。 さて今年は高崎市制 110 周年という記念の年です。各種イベントが催されていますが、その中のひとつに、昨年も小紙で紹介いたしました「たかさき能」があります。今年は 9 月 26 日（日）公演ですが、この「たかさき能」は、観音様を建立してから 50 年を記念して始まりました。それも今年で 25 周年となり、同じく記念すべき年となりました。 この「たかさき能」、もともとは屋外でやっておりましたが、天候などの不安もあって、ここ暫くは群馬音楽センターで開催していました。しかし今年は記念の年でもあるので 7 年ぶりに屋外、薪能が催されます。 「薪能」とは、照明にかがり火を用いて演ずる野外能のことです。一般的に薪に火を灯す火入れ式が公演の開幕にあたります。これは実は結構新しい様式で、オリンピックの聖火点灯にヒントを得た、近代演出です。（古来の薪能は、御薪（みかまぎ）を神に献上する神事でした。）こうした宗教的意味を持たない薪能は、昭和 25 年に平安神宮で開かれたのが最初です。当時、敗戦の傷も残る日本で、新しい文 化創造の動きとして出来たのがこの薪能です。ほかに火入れ式をシンボリックに演出する薪能は、富士吉田神社能神楽（火祭）、大阪城を背景にした大阪城薪能などがあります。 そんな薪能ですが、今年の演目は「高砂」。記念の回に相応しい、おめでたい演目です。演ずるはシテ方観世流能楽師、56 世梅若家当主・梅若玄祥です。 ここで「シテ」という単語が出てきました。シテとは主人公のことです。能は完全な分業制で、各流派によって役割が決まっています。例えばシテを演じるのは観世（かんぜ）、宝生（ほうしょう）、金春（こんばる）、金剛（こんごう）、喜多（きた）の 5 流派です。 シテとそのツレ、地謡（じうたい）、後見役は、全てシテ方の役目です。能面を付けるのもシテ方で、基本的に現実の男性役以外は全て面を着けて演じます。 能といえば能面を思い浮かべる方もおりましょうが、舞台上着けるのは一人だけです。能面は目の部分に小さい穴が開いているだけなので、視界はほとんどありません。当然足元も見えませんが、演者は日頃の修練により、ほとんど目隠し状態で演舞を続けられるのです。（稀に舞台から落ちたりする事故もありますが、そんな時は後見役などが続きを行います。）ほかに （裏へ続く） 弊社は企業文化活動の一環として「たかさき能」に積極的に協賛し、 実行委員会の一員として運営に携わっています。



舞、謡(うたい)、語り、囃子で構成される能は、能楽師全員が演者とされます。

そう、演者はシテではありません。前記のものがそろっての能。能とは総合芸術であり、日本のオペラのようなものなのです。能を敬遠する方の意見は「何を言ってるか聞き取れないから」「見ても意味が分からない」というものが多い気がします。しかし例えばビートルズを聴く人が、歌詞の意味が全部分かってるかといえはそうとは限らないわけで、そういう意味では同じもの、つまり雰囲気を楽しめれば良いのです。手の動き、足の運び、所作、笛の音、鼓の音、ひとつひとつに意味があるので、それが分かれば尚、良いものとなります。

閑話休題。かつて能は、「五番立(ごばんだて)」といい、五つにジャンル分けされて一日かけて観賞するものでした。その五つとは、

- ① 初番目物「脇能」：神が主人公。神社仏閣の縁起を語ったり、神が社会の平和や人々の幸福を祈ることを中心とした作品。
- ② 二番目物「修羅能」：源氏や平家の武将を主人公に、死後も修羅道で苦しむ様子を描いた作品。
- ③ 三番目物「鬘物(かずらもの)」：「源氏物語」や「伊勢物語」などの王朝文学の登場人物を中心に、優美な女性たちを主人公とする作品。

- ④ 四番目物「雑能」：狂女物を含めて執心・怨霊・人情など、他のジャンルに属さない作品。
- ⑤ 五番目物「切能」：鬼や天狗、竜神などを主人公に、派手な演出で動きの多いダイナミックな舞台を見せる作品。

今年の演目「高砂」は、祝い事なので勿論①脇能です。特に「高砂」は「翁」が登場し、「式三番(しきさんば)」と呼ばれ最も神聖化され、他の演目とは趣を異にします。翁が登場する演目は、演劇というより古風で呪術的な、神に対して天下泰平・五穀豊穰を祈願する儀式的なものです。

ストーリー自体は、神職の人が高砂の松を見に行つて、そこに居た翁に松の説明を受け、さらに紹介された住吉の相生の松を見に行くと、先程の翁が松の精(住吉明神・歌の神)に変身して、御世を祝福し舞を舞う。これだけです。しかし儀式的な祝いの演目でありますので、見所はやはり最後にシテの舞う舞「神舞」にあります。

この「高砂」は、古今和歌集・藤原興風(おきかぜ)の「誰をかも 知る人にせむ 高砂の松も昔の 友ならなくに」という歌を基にしています。室町時代当時、源氏物語と古今集は、知の背景として特に重視されました。そういった事もあり、作者の世阿弥が特にお気に入りだったと伝えられています。

そんな中、数ある演目の中でも特別なものが高崎で観られる。普段の喧騒を離れ、一時その幽玄の世界に触れるのも、悪くないのではないのでしょうか。

たかさき能(薪能)HP →

<http://www.takasaki-nou.jp/>

営業1課・今月の商品紹介

☆ カレンダー

年末のご挨拶、企業アピール・イメージアップに是非！この時期は色々選べてお得です。

夏あれやこれや

最高気温記念日

まだ、記憶に新しい2007年8月16日に、埼玉県熊谷市と岐阜県多治見市で日本の最高気温40.9℃が記録され、74年ぶりに記録が更新されました。それ以前は、1933年7月25日に山形県山形市で記録された40.8℃でした。因みに最低気温は、1902年1月25日に北海道旭川市で記録した-41.0℃でした。

特異日

特異日とは、その前後の日と比べて偶然とは思われないほど大きな確率で、ある気象状況(天気、気温、日照時間など)が現れる日のこと。

以下の例は、主に東京の特異日の例です。

- ☆ 晴れの特異日・・・1月16日・3月14日
6月1日・11月3日
- ☆ 雨の特異日・・・3月30日・6月28日
9月12日
- ☆ 猛暑の特異日・・・8月18日
- ☆ 台風襲来の特異日・9月17日(立春より226日)・9月26日(同235日)

10月10日

「10月10日が東京の晴れの特異日であったことから、1964年の東京オリンピックの開会式の日選ばれた」と言われていますが、10月10日は統計的に晴れが多い日とはいいがたいようです。むしろ東京オリンピックの開会式に選ばれたため、1964年以降この日が東京の晴れの特異日であると間違われるようになったのかもしれませんが。昭和34年発行「気象学ハンドブック」によれば、10月の特異日は14日とされており、1971年から2000年までの30年間のデータをみても、雨が全く降らなかった日で10月9日が17回、10日が19回、11日が14回と、大きな差はないと読めます。なお、10月10日が「東京オリンピック開催日」となったのは、「暑くも寒くもない10月上旬が適する」との判断からではないかと言われています。

夏バテと対処法

夏バテとは、「体がだるい」「疲れやすい」「集中力がない」「食欲不振」といった症状、いわゆる「夏限定の慢性疲労」です。なぜ夏バテが起きるのでしょうか？

我々の身体は、通常、体温が36～37℃の時、最も活動がスムーズになります。暑くなり、体温が上昇すれば、汗をかいて体温を下げる。汗は、体内に存在するミネラル分も同時に対外に放出します。そのため、ミネラル分が大量に失われ、体調バランスが崩れ、疲労感が生じます。

また、外気の暑さにより、消化酵素の効力が低下。これにより栄養の吸収が悪くなり、食欲不振を起こします。また汗をかき、体の水分が失われるため、冷たい飲み物を多く取することで、胃腸が冷え、消化不良を起こします。

さらに、暑くなると体は、汗をかいたり血管を広げたりして体温を逃がし、暑さに対応します。この体温調節は自律神経の働きによるものですが、冷房が強すぎたり、冷房が利いた部屋と暑い屋外を行き来するうちに自律神経が対応しきれなくなり、変調をきたしてしまうのです。

対処法

- ① 火を使った料理を食べる
- ② 食事の品数を増やす
- ③ 冷たいビール・炭酸飲料に注意
- ④ 水分を十分に摂る
- ⑤ 冷房はほどほどに
- ⑥ 良い汗をかく
- ⑦ めるめのお風呂に入る
- ⑧ ビタミン・ミネラルを補給する
- ⑨ 食が細くならないように
- ⑩ よく寝る

この他にも、人それぞれの過ごし方があると思いますが、夏バテや熱中症などにならないように、注意して過ごしていただきたいと思います。